

令和8年第3回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和8年3月4日（水） 午後1時30分～

場 所 本町分庁舎会議室1

出席委員 教育長 岩久 義和
委 員 橋本 あみる 田島 雅子 三尾 和樹 山本 亮

事務職員 伊藤事務局長・松井文化スポーツ部長・花田教育次長（兼）学校教育課長・森事務局次長（兼）教育総務課長・丹羽事務局次長（兼）教育施設課長・中尾文化スポーツ部次長（兼）文化課長（兼）鉦物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館長（兼）市史編さん室長・西尾教育研修所長・安江幼児教育課長・青木発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・青木生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長・小池図書館長（兼）蛭川済美図書館長・高井中央公民館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教育長報告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	報第3号	中津川市乳児等通園支援事業実施規則の制定について	承認
第2	議第6号	地方自治法第180条の7の規定に基づく中津川市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について	承認
第3	議第7号	令和8年度県費負担教職員の任免等の内申について	承認
第4	議第8号	令和8年度中津川市教育委員会の方針と重点について	承認

■教育長 委員4名の出席を確認しましたので、ただいまから令和8年第3回中津川市教育委員会を始めます。

日程第2、前回議事録の承認につきましては回議といたします。

続いて、日程第3、教育長報告を行います。前回の教育委員会以降に出席した行事を中心に報告します。

2月15日は中津川市郷土かるた競技大会に出席しました。市内の小学校から1チーム3名、28チームが参加をしてくれました。競技を通して、ふるさとの自然や歴史、中津川市の味覚や人などを学ぶ貴重な機会だと改めて感じました。また、同日は初開催されたひとまちおしごとフェスティバルを見学しました。約300名の児童とその保護者が来場され、大成功の催しとなりました。16日は山口・坂下・川上地区小学校統合準備委員会に出席しました。地域、保護者、学校の代表の皆さんに、児童らが楽しみになるような新しい学校づくりに向けて、ご理解とご協力をお願いしてまいりました。17日はねんりんピック2025中津川実行委員会に出席しました。20日は市初任者指導推進委員会に、24日は市議会3月定例会に、26日は東濃地区教育長会にそれぞれ出席しました。

3月1日は阿木高等学校の卒業式でした。人生の新しい一步を歩み出そうとする者の爽やかさや覚悟が感じられる卒業証書授与式でした。2日は今年度最後の校長会でした。学校を取り巻く様々な環境が大きく改善されているとは言い難い中で、奮闘してくれた校長先生方に感謝の気持ちを伝えてまいりました。

続いて、今後の主な行事です。5日と9日は市議会一般質問に出席します。6日は中学校で卒業式が行われ、私は福岡中の卒業式に臨席いたします。委員の皆様にも教育委員会告示をしていただきます。11日は今年最後の教頭会に出席します。13日は文教民生委員会、17日は恵那特別支援学校の卒業式、18日と23日は予算決算委員会にそれぞれ出席します。小学校の卒業式は24日に行います。私は校長会長を務めていただいた中村校長が勤務する南小学校の卒業式に出席します。委員の皆様にもご足労をお願いしております。なお、同日24日の午後は臨時会を予定しております。忙しい年度末に申し訳ございません。ご出席のほどよろしくお願いいたします。

私からは以上です。

次に、教育委員会事務局並びに文化スポーツ部から報告をします。

伊藤事務局長。

■事務局長 前回の教育委員会以降における主な出席行事について報告します。

2月10日は市の教育実践研究論文表彰式に、16日には主任保育士に昇格するための試験に面接官として参加、夜には2回目となる坂下・川上・山口小学校統合

準備委員会に出席しました。17日には、青少年健全育成推進市民会議の地域非行対策部会と、安全安心まちづくり推進市民会議のいじめ対策部会の合同会議に出席し、議事、意見交換が行われました。警察からは市内における犯罪情勢や少年非行の概況が報告されました。少年非行の未然防止として行なっている警察による街頭での声掛け事例が令和7年4月からの統計で578件、少年の不良行為による相談が9件あり、主にSNSや友人対人関係でのトラブルであったということで、「人と人とのコミュニケーションがうまく取れないことが原因であると感じている」とコメントされていました。

20日には、令和8年度に計画している岐阜県の補助事業の政策オリンピックの関係で、中津川市内の小学校と交流の場を持っていただける名古屋市立本郷小学校を訪問し、事業概要や具体的な取組案などを説明してきました。24日には3月議会が開会となり、教育委員会関係では、工事遅延に関する和解の議案、上程した補正予算案について各委員会で審議され、本会議で初日議決をいただきました。

3月2日には、長野県蘇南高等学校の卒業証書授与式に出席しました。少子化により生徒数が80名程となり、そのうち30名が卒業されました。

続いて、今後の予定です。

3月5日、9日は市議会一般質問が行われます。今回の議会では3人の市議から教育委員会関係で質問を頂いています。令和8年度主要事業に記載のこども条例のこと、未満児保育の充実のこと、子どもの権利のこと、不登校児童生徒が安心して学べる環境整備のことについてご質問を頂いています。6日には苗木中学校卒業証書授与式に、19日には神坂小学校卒業証書授与式に出席します。20日には福岡地区の3つの保育園の閉園式が、22日には神坂小中学校閉校式が執り行われます。以上で報告を終わります。

■教育長 松井文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。

2月12日、全国少年少女選抜レスリング選手権大会の46kg級で優勝した中津川ジュニアレスリングクラブ所属、西小学校5年生男子から市長に喜びの報告がありました。16日、文化庁長官表彰を受賞された加子母の株式会社中島工務店代表取締役の中島紀干さんが市長を表敬訪問されました。中島さんは、神社仏閣の建築を中心に多くの重要文化財や名勝の保存修理に携わり、後進の育成にも努めてこられた功績により今回の受賞となりました。御嵩町願興寺本堂や、鎌倉市の建長寺仏殿の実績があり、また、ブラジルのサンパウロの日本館の修復を、30年間程ボランティアで現地に足を運んで行なっています。17日、ねんりんピック岐阜2025中津川市実行委員会総会が開かれ、昨年10月に開催された卓球交流大会やマン

カラふれあいレク大会の取組状況などの実績が報告されました。岐阜県が実施した参加者アンケートを少し紹介します。卓球交流大会については、「運営がスムーズでおもてなしの歓迎感が伝わる素晴らしい大会だった」「開会式はアットホームな雰囲気演出も良く思い出になった」「お昼の豚汁がとておいしかった」などの高評価を頂きました。悪い点として、タクシーの運転手の対応や、シャトルバスの時間が遅れて待たされたということがありました。試合が長引き、負けた選手にとっては待ち時間があつたと捉えています。98%ぐらいの方から大変良かったと評価いただきました。25日、落合本陣整備計画策定委員会が開催され、今年度策定予定の計画の審議をいただきました。同日の子ども金メダル選定委員会では、田島委員に委員長を務めていただき、今年度の授与者を決定いただきました。なお、授与式は3月31日を予定しています。

28日、中央公民館まつりのステージ部門の発表があり、11団体が出演されました。昨年は中央公民館の大規模改修もあったことから中止となっていましたが、今年は開催でき、皆さんが楽しそうに演じたり歌ったりしている姿が印象に残りました。同日、第18回島崎藤村記念文芸祭表彰式が開催されました。全国各地から2,026名、2,464点の応募を頂き、短歌など5部門で191名の皆様に表彰させていただきました。昨年の第17回は1,962名、2,325点の応募で、今年はそれを少し上回りました。

今後の予定です。

3月5日、市議会一般質問1日目は、文化スポーツ部の関係では、田中市議から公民館のバリアフリー化の状況についての質問を頂きます。9日、国際交流事業検討委員会が開催され、令和8年度のタイ研修の中身の検討がいよいよスタートします。10日、博物館等協議会と苗木城跡整備委員会が開催されます。11日、落合本陣整備計画策定委員会の最終回が開催され、計画が完成する見込みです。14日、「幕末激動する京都政局と中津川宿」と題して東京大学名誉教授、宮地正人先生の講演会がひと・まちテラスで開催されます。15日、ぎふ清流座地芝居公演に東濃歌舞伎中津川保存会が出演されます。18日、図書館協議会が開催されます。24日、リニア活用推進キャッチフレーズ決定委員会が開催されますので審査員として出席します。これは1月10日から2月20日に全国に募集し、1,760名4,392件の応募があつたということです。24日、社会教育委員の会兼公民館運営審議会が開催されます。以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

三尾委員。

■三尾委員 事務局長報告の名古屋市立本郷小学校訪問について、何人ぐらいの児

童数で、場所はどの辺りか教えてください。

■教育長 伊藤事務局長。

■事務局長 野外教育センターに来年交流に来ていただく小学校で、交流する苗木小学校と同じぐらいの児童数の学校を選んでいただきました。場所は名古屋インターを下りてすぐの本郷という大きな交差点を北に行ってすぐのところで、住宅街の中にあります。

■教育長 橋本委員。

■橋本委員 2月16日に行われた山口・坂下・川上地区の統合準備委員会はどのような雰囲気でしたか。

■教育長 丹羽事務局次長。

■事務局次長 統合準備委員会では、この日に委員長や役員を決めていただきました。その後、統合の日付を令和9年4月とすることの確認をいただき、名称等は部会で検討いただくことになりましたので、その委員会にお任せすることになりました。

■教育長 補足します。3校の中で坂下小学校が規模的には一番大きいですが、山口と川上の子どもが坂下小学校に吸収されるのではなく、令和9年4月1日から皆さんで新しいやさか地区の小学校を作っていただきたいというお話をさせていただきました。皆さんの様子を拝見する限りでは、この地域の唯一の学校としてこれから大事に育てていこうという雰囲気が感じられたので、私としては大変ありがたかったです。

その他、いかがでしょうか。

ご質問がないようですので、日程第4、議事に入ります。本日提案する議事について事務局から説明します。

森事務局次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 それでは、日程第1 報第3号「中津川市乳児等通園支援事業実施規則の制定について」提案説明をお願いします。

安江幼児教育課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願い

します。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、報第3号については、承認ということでよろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 報第3号「中津川市乳児等通園支援事業実施規則の制定について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第6号「地方自治法第180条の7の規定に基づく中津川市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について」、提案説明をお願いします。

森事務局次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 総合事務所の小学校、中学校、幼稚園、保育園、こども園に関する事務が本庁対応となるということですね。

■教育長 森事務局次長。

■事務局次長 その通りです。

■教育長 田島委員。

■田島委員 本庁対応にできるということは、今まで事務の取扱い数が少なかったということですか。

森事務局次長。

■教育長 合併した当初は総合事務所にも課がありそこで受付をしておりましたが、件数も減り、事務所の職員も減ってきたことから、教育委員会事務局で対応してくださいということになりました。他にも本庁で対応するような事務は、これに代わる行政組織規則の中で、総合事務所の事務を大幅に減らし地域事務所と同じような事務にするように平準化を図っております。

■教育長 田島委員。

■田島委員 先日用事があり総合事務所に行きましたが、お昼が近かったこともありとても閑散としていました。職員が本当に少ないので、本庁対応にして少しでも

職員の負担を少なくするというのはよく分かりました。

■教育長 橋本委員。

■橋本委員 事務の考え方についてお聞きします。今後、コミュニティスクールのことや、規模適正化等もあります。今まで「地域に支えられた小学校」と言われてきましたが、総合事務所がこのような事務をしなくなると地域と学校や保育園との間に距離が出てしまうようにも感じるのですが、そういった影響は心配されませんか。

■教育長 森事務局次長。

■事務局次長 小学校や中学校や保育園関係の事務というのは入園手続や転校手続に関してのことです。コミュニティスクールは社会教育になりますので引き続き総合事務所の所管になり、資料3ページの改正後(1)の「生涯学習」に含まれます。これまでは「社会教育に関すること」「社会体育に関すること」「図書室に関すること」と個別に書いてあったものを集約する書き方になりますが、事務は変わらず行います。

■教育長 田島委員。

■田島委員 社会教育に関することはそのまま続けるということですが、例えば、公民館長が地域の小学校や中学校、保育園、こども園に行って、コミュニケーションを取りながら上手に回しているわけですね。

■教育長 青木生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 距離感が出るのではという質問でしたが、コミュニティスクールは、主に校長先生が筆頭となり学校運営や関連の地域づくりのことを取り仕切ります。社会教育では、推進員さんに謝礼をお支払いして、体験活動や社会教育活動への側面的な支援と相談などを、校長先生やそこにいるメンバーと連携を図っていきます。そういった2つの車輪で進めています。

公民館長の件は、社会教育法に基づいた形で公民館を設置し、公民館長が教育委員会から任命されて社会教育活動、生涯学習の学びの機会を提供しており、学校に限らず地域のそのような所に足を運ぶことが仕事ですので、規則が変わったことで何かが変わることはないと思います。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 このような改正案は、私たちはこの場で見せていただきますが、市民の目に触れるのはどのような時でしょうか。この改正案が市民の目に触れたときに、「小学校、中学校、幼稚園のことは対応してくれないのか」というような誤解を得るのではないかと思ったのですがいかがでしょうか。

また、2ページの市民への影響に、「市役所の出先事務所としての機能は失わな

い」と書いてありますので、各小学校や中学校が事務所に行ったときに、「これは本庁の事です」「これはここで取り次ぎます」となるのでしょうか。

■教育長 森事務局次長。

■事務局次長 市役所の内部の仕事の取決めですので、これが市民の目に触れる機会はあまりないと思います。例規はホームページで探せば出てきますが、市民にお知らせする類のものではありません。

また、学校の方が総合事務所に行ったときのことで、ここに書いてあるのは受け付けないということではなく、処理をしないということです。学校のことであれば総合事務所で受け付けて、教育委員会内で処理します。総合事務所で事務処理まではしませんが、取次ぎはします。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 距離感が変わり、縁が無くなるという印象を受けたので質問させていただきました。

■教育長 他はいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第6号については承認ということでよろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 議第6号「地方自治法第180条の7の規定に基づく中津川市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第7号「令和8年度県費負担教職員の任免等の内申について」、提案説明をお願いします。花田教育次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

三尾委員。

■三尾委員 初任者は何人ですか。また、昨年度との人数の増減を教えてください。

■教育長 花田教育次長。

■教育次長 初任者は17名です。昨年度は24名で、7名減っています。

■教育長 山本委員。

■山本委員 若い教員で退職する方は、どのような理由が多いのでしょうか。

■教育長 花田教育次長。

■教育次長 理由は様々ですが、最近特に多いのが転職や起業です。積極的なものでは、英語の教員が海外で語学力を高め、また教職に戻りたいというものもありますが、やはり教員という仕事に対する意識の変化が見て取れる退職理由が多くなっています。

■教育長 山本委員。

■山本委員 おそらく中津川市だけで変わることはないと思いますが、県や国ではどのような対策が考えられているのでしょうか。

■教育長 花田教育次長。

■教育次長 まずは市のレベルになりますが、魅力があつて教職に就いていると思うので、教員としてのやりがいを感じられるような指導や助言をして、育成をしっかりしてほしいということは学校に常々言っています。広域でいうと大きく手を持つことはなかなか難しいと思っています。市では教員になってからの充実感を高めること、県としては、ブラックだと言われている職場を働き方改革等で改善しながら、もう少し働きやすい職場に変えるという取組が、ずっと行なわれています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 ある学校の特色を体現している先生が退職されますが、その先生がその学校で再任用をされるということを知りました。その先生が学校の特色を一生懸命担ってくださると思い、非常に嬉しく思いました。おそらくその先生はその学校の特色に対して人生を賭けているのではないかと思います。

私の同級生では70歳を過ぎてもまだ講師をしている方が多くいて驚きます。夜学などで、再任用や講師で頑張っている先生方の人生観や教育に対するコツなどをどんどん若い先生方に伝える機会を作っていただきたいと思います。

■教育長 花田教育次長。

■教育次長 先ほどの山本委員の質問にも関わることだと思いながら伺いました。本当におっしゃる通りで、教師としてのやりがい、その人の生きがいといった物語をしっかりと聞いていくことは、若い職員にも刺激になると思います。夜学は研修所でやっておりますので、しっかりとお言葉を引き継いでいきたいと思っています。

■教育長 経験の長いベテラン教員の体験は本当に貴重で、そういったものが後進に引き継がれるように、後進の者たちが先輩の経験を受け止める機会をぜひ今後も作っていききたいと思っています。

先ほど次長が、役職定年を迎える校長の動きについても少し触れましたが、今年度60歳で役職定年を迎える校長先生が6名みえます。うち4名は教諭として学校

に残り、1名は講師という立場で常勤で学校でご活躍いただく予定です。さらに1名は特例任用校長として、給料は下がりますが今年度と同様の仕事をしていただけるということでありがたいと思っています。60歳を過ぎても中津川市の学校、児童生徒のために尽力する者たちがある種の範を示している様相が、中津川市の中で当たり前になりつつあるのが、私としては本当にありがたいです。

他はございませんか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第7号については承認ということによろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 議第7号「令和8年度県費負担教職員の任免等の内申について」は、原案どおり承認とします。

続いて、議第8号「令和8年度中津川市教育委員会の方針と重点について」、提案説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。初めに、教育委員会事務局分について、ご意見やご質問を頂戴します。

田島委員。

■田島委員 資料が非常に見やすく分かりやすく書いてあり、ありがたく思っています。16ページ、「幼稚園・保育園・こども園・重点……」の最初の4項目目、「園内で内容を共有したり……園内研修を行ったりして……」ここは少し引っかかる言葉です。「園内で内容を共有し……園内研修を行い……」でいいのではないのでしょうか。

■教育長 西尾教育研修所長。

■教育研修所長 国語的に短くした方が分かりやすいということ、承りましたので検討させてください。

■教育長 橋本委員。

■橋本委員 ここに書いてあることは全て重要なことだと感じています。項目はたくさんありますが、長い目で見て少しずつ積み重ねて継続して身に付くことと、仕組みを作れば実現できそうなことに分けられると思います。事務局としての関わり方、実現のためにどんなことをされる予定ですか。

■教育長 西尾教育研修所長。

■教育研修所長 例えば、指導力向上の教科指導に「授業改善6項目を徹底する」とあります。これは、各学校を訪問する際、または先生方一人一人に、「授業力を向上させることによって子どもに確かな力がつく」ということを徹底していきたいということです。特に青色にしている部分は継続的に大事にしていきたいことで、他と色を変えて示してあります。

■教育長 シートに記載してある□について説明していただけますか。

西尾教育研修所長。

■教育研修所長 16ページ右上に「『□』について」として、「ご自身の分掌等について4月と10月に確認し、チェック『レ』を入れてください」と記載しています。これを各学校に配布した後、個人個人に配布し、例えば週案などにはさみ、年間を通して意識してもらいますが、渡しただけでは浸透しないし忘れてしまうこともあるため、4月に配布した後、まずは自分で確認してもらい、10月ぐらいにもう一度見直して意識してもらって学年末を迎えてもらいます。年2回点検・確認してもらうように項目を作っています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 年2回チェックをしてもらうのは非常にいいことですが、幼児は成長が早いので半年どころではないと思います。また、これを本当に実施しているのか確認をする年があるといいと思います。実施してくれていることを前提に進めているとは思いますが、それを確認すると反応が分かるので、事務局も新しいステップに進んでいけると思います。

■教育長 他はいかがですか。

では、文化スポーツ部の方針と重点について、ご意見やご質問を頂戴します。

田島委員。

■田島委員 文化スポーツ部の資料がここ3、4年で本当に見やすくなりました。今までは色もなく書きっぱなしで探すのが難しかったです。分かりやすくなってありがたいですし、努力されていると感じました。

中尾次長にお願いします。文化振興の「発表の場の提供」、これはいろいろな所で文化事業などをやっておられるということです。教育長も出席してくださっている南地区のさわやかフェスティバルは、何十年も行われています。南小学校下の3世代フェスティバルで、子ども、父母、祖父母世代なので、80歳のフラガールも登場し、子どもたちの合唱もあり、とても楽しいものです。これを西地区と東地区もやりませんか。見に行った西地区の方が「羨ましい」と言っていました。ただ、始め方も分からないので、「こうしたらどうですか」と支援をしていただくと、より

一層発表の場ができる気がします。西地区にも東地区にも民謡などいろいろな芸能をやっている方がおられますが、発表の場が少ないので、文化課が積極的に促して一つでも発表の場を作り上げていただければ、コロナで衰退している団体も頑張ろうとなると思います。

■教育長 中尾文化スポーツ部次長。

■文化スポーツ部次長 一度区長さんたちに直接状況を伺い、どのようなことができるか考えていきたいと思います。

■教育長 松井文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 私も芸能団体の方から「私たちは練習を定期的に行っているけどなかなか出る場面がない。どこか出る所はないですか。」という相談を受けました。確かにそうだと思います。文化スポーツ部ではスポーツでもいろんな大会を行っています。この間もVリーグのバレー大会があり、子どもたちのダンスをアトラクションとして披露していただきましたし、2月の終わりには卓球の大きな大会があり、開会式のオープニングセレモニーに太鼓の団体に披露していただきました。そのような橋渡しの役割を文化スポーツ部が担える部分もありますので、そのあたりの情報を集約して、どう発信し、どういったところにアプローチしていくか考えていきます。

■教育長 他はいかがでしょうか。

たくさんの方の文章量ですので、またお気づきの点があれば後日にでもご意見寄せていただけるとありがたいです。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第8号については承認ということでよろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 議第8号「令和8年度中津川市教育委員会の方針と重点について」は、原案どおり承認とします。

これを持ちまして、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について報告をお願いします。

森事務局次長。

[事務局から次回日程の報告]

■教育長 次回は、令和8年3月24日、火曜日、13時30分から本町分庁舎会議室1にて臨時会を開催します。

以上で令和8年第3回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れ様でした。

[閉 会 (午後3時00分)]